

【刊夕】日三十月一



定部金一錢 郵費五錢 印刷費一錢
 廣行發 料告廣 五號三十 字一語一 行十五 錢
 福島縣 石城郡 平野町 橋崎三 五
 常警日新 社刊新 電話三 〇三六
 印刷所 日新報 社株式 會社

座談

宮田青波
 片寄歌二
 白木英尾

「これから始めます、片寄さん問題を出して下さい」
 「そちらで出さないか」

「宮田さんは近頃歌を忘れたんぢやないかと皆んな心配してゐますよ」
 「いや、忘れやしませんか」

「奥さんも歌をおやりになるとでせう？」
 「これは出来ないよ」
 「でも、やらせなくちやいけません」

「宮田さん！」
 「ハイ」

「この前、宮田さんが行詰つてゐる様だから口語歌へでも轉換したらどうかといふ話が出たんです。それに就いて御感想は？」
 「そうだね。イヤ御心切有難う。(間)誰だか歌は發想時の感動で詠まれるもので用語を喧ましくいふ必要がないと言つたが結局それでいいわけだと思ひます」

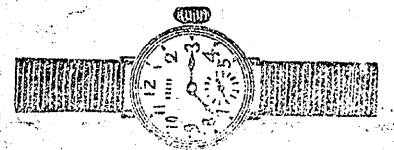
「然し、現代人の新しい感情を古い因襲に囚はれた形式の短歌にもるのに何らかの矛盾を感じませんか」
 「それに就いては考へないこともありませんでした」
 「舊短歌による作歌道程の長い人はどうしても急激な轉換が困難です。片寄さんは舊短歌の時代がなくてしまつたんですか」
 「そう。最初から口語歌を用ひてゐたんです」
 「然し——口語歌はこれから發展させよう」
 「どうだか判りません。このまゝ減つてしまふかも知れませんよ」
 「いや、あとからどん／＼出て來ます。そしたら白木さん」

「一鉢石城の歌壇は今が最高潮ぢやないでせうか」
 「まだ／＼膨れるでせう。優たのは出ないでせうか」
 「女流は割合駄目だらう」
 「そう只武田さんだ。矢張系統的に研究しないと」
 「それよりも時々小集を開いてお互に研究し合つた方がずつと効果があります」
 「渡邊さんもそれを言つてましたつけ。今度やることにしませう」
 「宮田さん、こゝろで締括りを願ひます」
 「いやどうも……」
 「これで、どうもありがとうございました」

火耀短歌

官製はかき一葉三首
 宛名は本社文藝部
 締切は毎週土曜日

志來眞樹
 交へてこの悲し
 園田綾子
 事をぶちまけてか
 片寄歌二
 目をとちて耳をすま
 の音に吹雪の音が
 自己逃晦の生活の
 んこんと眠りにふける



時計の御用命

「は今評判の山崎に
 深刻な不景氣の折柄買ふ人の身になつて良い品を特價にて提供致します」
 修繕物は特に丁寧迅速破額を以て御用に應じます
 親切な店 堅い店
山崎時計専門店
 (五丁目新川町通り)
 (吉田屋染物店前)

夜間も診療致します
丹野齒科醫院

日本大學 齒科醫學士 丹野 淳
 平町白銀町十五番地
 (鐵道官舎隣)

磐城土産
 鯉節と
 鹽から
 配達敏速

魚問屋
 最優最志
 平賀平
 大代目
 日理盛電
 本店盛電
 命生榮
 番三二一

平新川町十九

木村病院

電話一六四番
 院長 木村寅次郎
 婦人科 女醫 木村 コウ
 内臓外科 醫學士 松永 憲一
 整形外科 醫學士 萩原 駿一
 藥局 東京藥學士 萩原 駿一

暖かな冬物の御用意

買よき店
モリタヤ洋品店
 平五 三五三

難病ニ正シキ光線治療

天佑堂

平田町(末廣亭向ヒ)
 治療時間 自午前八時 至午後九時

三井の券品商

三井呉服店

お醤油は……ヤマフル

醬油味噌
 たひら正宗
 鯉節食料品

鹽屋 **山崎合名會社**

福島縣平野町
 電話(營業部二〇番)
 (醸造工場二七番)

平町の水道工事

厳寒で中止

地泥が凍結して

就業者再び失業

平町では失業救済の目的を兼ねて奮末から石城郡好間村の上野原浄水池に同町上水道擴張工事として濾過池一ヶ所

貯水池

二ヶ所を工事中で既に大體の掘削を終了したが十日朝来稀有の酷寒で地泥が凍結し工事中止の餘儀なきに至り折角仕事に有り付いた失業者三十餘名は再び失職同様となり寒空を見上げて怨んでゐる尙此の様な嚴寒が持續する時は今後の

作業は

大部分がコンクリート工事なので當分就業は覺束なく従つて豫定より竣工が遅れる模様である

養蠶代議員

各町村で決定

奮末施行の石城郡養蠶同業組合代議員選挙の結果は左の如く當選十日發表された

- 藁谷義永(高久)作山源作(江名)志賀重右衛門(豊間)岡田市太郎(大浦)草野熊太郎(赤井)高萩國太(永戸箕輪)志賀直哉(鹿島)上遠野新重郎(泉)根本義一(渡邊)永山 久助(三坂組合)芳賀義虎(川部)植田萬次郎(四倉)酒

一月中に通常會を開くべく目下提出議案の作製中であるが開期は未だ決定しないが本月下旬頃となる模様である尙同疏水復舊工事は縣營となつたので來年度の豫算は本年と大差なきものと見られてゐる

羊飼育獎勵

磐崎村にて

石城郡下の細羊飼育部落磐崎村藤原部落では本年は羊の當り年だとはかり組合までも設け一層飼育に努めることになつた

柳田を捕縛する迄

色魔の師斯詐大

- ▼ 本名 青木由五郎(前科三犯)
- ▼ 原籍 神奈川 縣 浦賀町
- ▼ 平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼ 房總地方にての偽名 森本友三

根本毅一

漸く起きて出て下すつたのがお婆さんの方と娘さんで御主人はお留守。「森本さんをお訪ねして参りましたが……」

銀の實用化時代

暴落のお蔭で 銀製品需要激増

昨年末、一寸値を盛りかへした銀塊は、本年に入つて又も暴落に次ぐ暴落で、十日にはつひに一匁八錢一厘といふ途方もない崩れを見せるに至つた、従來銀は金と共に 貴金屬として黄金し

やうと思ふ辻鐵工場の主人が、僕の宿屋の風呂場のポンプの修理に來られたと云ふから「甚だ恐縮ですがお仕事が済みの時一寸つと座敷までお出でを願ひたい……」と頼む。やがての事來て下すつた「私は昨夜お宅様へお留守の處御訪ねをした者ですが實は貴方の處へ二週間程御

本場淺草ノり着荷

何商品でも實際之本場物は少き物に候今回弊店にて本場淺草海苔を販賣致す候間試に何程でも御購求被下度此段廣告仕候全く場違は賣らず候

平町四丁目 伊勢屋商店

電話 五七五番へ 平三玉壽司

春らしい景氣である、某商店では語る

「銀製品が安くなつたので折角銀で作つたものでもお客さまなどこれは銀かとお訊ねになるので恐縮します、純銀で作つたものはとんと賣れない様ですが、金製品は裝飾一方便ですが、この頃の銀製品は安價で裝飾と實用とを兼ねてゐるのでどん／＼賣れます」

盛況を呈した 石城政友總會

新幹事長に井上茂作氏

三縣議の慰勞

既報石城政友會臨時總會は本日午後一時から有聲座に於いて開催、七百數十名の會員

場内に 壽司詰となり

意氣衝天の概をなし會長木村代議士開會の辭を述べて鈴木辰三郎氏が縣支部幹事長に就任せるの結果欠員となつた部會幹事長の選舉に入つたが會長の指名と決し木村氏は井上茂作氏を

適任者として指名す

るや満場破れんばかりの喝采暫し鳴り止まず次いで鈴木前幹事長及び井上幹事長の挨拶あり左記の宣言決議を可決し

宣言

國運の伸張民福の増進は一に繁て善良なる政治の運用に之れを保障せらる現内閣成立以來既に一年有半其間悉く内外の施設政策を懲り國家の權威を毀損し殊に國民日常の生活に脅威して殆ど空前の恐怖時代を現出したるは今や民に榮色あり野に餓字ある現前の事實に徴して寸毫の疑を挿まざる處なり、石城郡の天地に就て之れを見るも彼等の錯覺による緊縮節約と無準備なる金解禁が必然の結果

果として茲に著しき産業經濟の枯凋を招き市街地農村を通じ加速度を以て其の不景氣を深刻ならしめたる罪過漸じて掩ふべからざるものあるは勿論地方景氣の大宗をなす炭礦に在つては之れに原因する船舶の礙繋諸事業の操短緊縮相連し石炭消費量の著しき減退を來して炭價の崩落底止する處を知らず廢山休坑續出して既往一年間に於いて七千人の失業者を出したるが如き實に由々しき社會問題たらざるは非ず、現内閣財政の殃する處寒心せざらんと欲するも豈得べけんや、然るに現内閣は政策の破綻は直に自家の運命に關するを懼れ徒らに言を世界的不況に藉り舉世驚愕たる輿論に聽従するの良心なく飽く迄政權に戀々として責任の大義を没却す、今にして政策を轉換し振興の大策を樹て狂瀾を既倒に回すに非んば我天下國家の將來を奈何せん我黨は茲に既定の大綱たる産業立國の大旗を掲げて其根本政策を遂行し當面の急務として先づ産業五ヶ年計劃

を実現し一日も早く景氣を挽回して失業者なからしめ人心の安定志氣の振興を策して國運の進展を期せんとす茲に石城郡部會臨時總會を開き普く同志を糾合して現内閣の稅政を糾強して陰慘なる世相を展開して内外庶政を刷新更張せん事を宣明す

決議

一、速に現内閣を打倒し我黨既定の政策を實行し生氣を恢復せん事を期す
右決議す
引續き本部特派員代議士山下谷次氏登壇、得意の快辯を揮つて稅政百出せる現内閣の不景氣政策を完膚なき迄にコキ下し此の難局打開には是非産業立

鐵道納炭を 一割内外値下か

磐城各炭坑では昨今活氣を呈して來たが来る三月契約を改訂される鐵道納炭は常磐炭産額の六十パーセントを占めてゐるから六年度には現在の九圓廿錢平均に對し一割内外の値下げを行

平和境！江名

全く勞資協調し 小作米納入競争

米價安で極度の行きづまりにあえいでる結果小作米の延期または減納とかで爭議

明日のフタオ

十四日

- 前七、〇〇 ラデオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「茶碗ひし」松本嘉一發表
- 日用品値段
- 前一〇、三〇
- 前一一、〇〇 家庭講座「お箏の譜の讀み方」二落合三東里
- 正午 時報

今晩も明日も西の風晴れたり曇つたり

後三、四〇 氣象通報
後四、〇〇 ニュース
後四、〇五 角力中継「東京大角力春場所七日目」國技館より中継
後六、〇〇
後六、三〇 (子供の時間) 探偵物語「寶のかめ」其一 甲賀三郎
後六、三〇 文藝講座「名作のグリムプス」中山昌樹
後七、〇〇 ニュース 氣象通報 番組預告 告知事項
後七、二五 講演「九州人を語る」九州帝大教授醫學博士 平光吾一
後八、〇〇 室内樂(ヴァイオリンピアノ二重奏) 安齋幸子 レオシロタ
後八、三五 小唱 一社頭の雪 二雪は巴 三雪の身を 四羊の春 五あけぼの 六寶舟 唄小唄幸兵衛 三味線小唄幸子 同小唄幸美葉
後八、五〇 ラデオトラマ「熊」劇團新東京
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 告知事項

今これはまた競うて小作米の納入をしてゐるといふ變つた處、石城郡江名町の小作人等は米價がさん落してるとはいへ例年になつた昨年

公設質屋の實現に 切實な希望

現在平町には四軒の質屋があり町内の細民諸商人階級を相手に不景氣どことなく風

米屋組合總會 平町の米屋業組合では来る十八日總會を開き昭和五年の決算並に相場協定の他に就て協議し終つて新年會を催す

夫の後を慕つて 若妻のネコ自殺

紺屋町提灯屋の嫁女 今曉から苦悶の末に 因は夫頼義が昨年十一月に死亡して以來常に「もう此の世には望みがないから死んで仕舞ふ」と口走つて居たから多分夫れを悲觀し自殺したものであらうと

町財政 の餘裕少しとは云ひ社會政策の見地より多少の緩急を按排しても是非此方を先に解決して欲しいといふ切實な希望もあるに鑑み町當も大分乗り氣になり各地に於ける施設の概況を折角調査中であるが新規事業として 明年度 豫算に計上されるかどうかは疑はしい

創作小説

捕物覺え

東京 橋場 鮎刺 (米田安藏著)

「お千代、大層呑込んだ體で、ア何とかが折つて見ませう」と答えてお千代は、お頭を下げ、お千代は幾度も「お頭を下げ」といふ言葉を繰り返して居る。お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。お千代は、お頭を下げ、お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。お千代は、お頭を下げ、お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。



「お千代、お頭を下げて居るが、お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。お千代は、お頭を下げ、お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。

「お千代、お頭を下げて居るが、お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。お千代は、お頭を下げ、お千代は、何分宜しくお願ひ申します」といふ。

て總は命用御の物刷印
番〇三六話電 會社 刷印日每警常

靈藥ムテキ

切斷の苦しみなく……
梅毒、さりとさづ、乳はれ、くさ、りうまらす、其他化膿するもの一切

阿康藥舗

發賣元
古鍛冶町(縣社下)電話四四四番

米國製藥 (無臭)
有偽物要注意
丹波博士創製
レメドール
セキトメ

花柳病専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

梅毒 淋病
皮膚病 婦人病
腸胃病 胃性病
腸胃病 胃性病

院醫科 腸胃病 胃性病
七〇一話電 町南平

江戶前 季節料理
寄なべ
相始めました、皆様の御來駕をお待ちします
出前迅速
平館隣り
魚 榮
電四二四番

鐵道省御用

金光堂時計店

平五丁目
電一九五

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
平南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

新年愛讀者慰安會

明けて御目出たう皆々様御待兼の
久々にて
西東 大歌舞伎
大内巡業部
當る一月十四日より當地聚樂館に於て開演仕候間何卒奮倍之御引立之程而伏願申候

後援
吉田新聞社
京城通平支店
東京朝日新聞平支店
東京朝日新聞平支店
至誠堂新聞店

吉田眼科病院

尚愛讀者に限り特等優待券を呈呈致します
平紺屋町、電話六八八番

婦人給仕五名募集

容姿端麗にして
相當教養ある方
年齢二十才以上三十才迄素人も可
御希望の方は履歷書持參
午後一時より御來店を乞ふ
平町田町
イワキサロン
電話三五二番